



鈴木 啓文くん

今年是一位に

ぼくは五年生になって「ずい分そうじの場所がふえたな。いろいろやる事があるんだな。」と思いました。

まず四月十二日、きのうから五年生での陸上の練習が始まりました。四年生から六年生までをあわせると、九十人もいます。ぼくは、やっぱり選手になりたいです。四年の時は選手になって、百メートルで二位になってしまったけど、今年是一位になりたいです。

また、委員会やクラブ活動、そして勉

強にもがんばっていきたいと思います。ぼくが五年生になって思ったことを書いてみました。

一、友だちに思いやりの気持ちをもちたい。
二、どんなことにでも、チャレンジしたい。
三、自分にすなおでいたい。
これを目あてにして、がんばり、努力していきたいと思います。



鈴木 真純さん

一年生のめんどうを見てあげたい

わたしが五年生になって思ったことは、「もう高学年だな。」ということ。だ

い子に育ってしまいました。

今、めまぐるしく変わる世の中で、力強い闘争心と何事にも挑戦して行く心構えが要求されると思うのですが。

ただ、思いやりのある心だけは持ち続けて欲しいと思います。一人の子供達は、とても仲よしで、親の私もびっくりするほどお互いを思いやり、協力し合っています。この優しい気持ちを家庭内だけで終わらせず、もっと外に目を向けて、友達関係にも広げて行ってくれたら、と思います。また、家の手伝いもよくしてくれます。出荷物など、家でする仕事も多いのですが、子供自身にも自分のできそうな仕事だなどと思うと「手伝ってあげよう」と言ってくれます。少々邪魔になる

から、一年生のめんどうをよく見ていっしょに遊んであげたいと思います。

また、五年生になるといろいろな行事があります。社会科見学では、よい見学がたくさんできそうです。東金青年の家での宿泊訓練も楽しそうです。十八キロ歩く全校遠足もあるし、いろいろな大会もあります。委員会やクラブ、集会活動も五年生としてがんばらなければなりません。

こんなにいろいろなことがあるんだから、りっぱな五年生になります。もう四年生以下の人たちには、「お姉さん」と思われているんだから、やる時はきちんと、遊ぶ時は遊ぶできちんとしたいと思います。

五年生では、やり残しがないように、せいっぱいがんばりたいと思います。

時もあります。、「どうもありがとうのおかげで早く終わったよ」と声をかけるようにしています。この様な毎日の生活の中で気を付けている事があります。それは、家族が揃って食事を取る事です。休みの日でも食事は皆でします。食事の時間が家族の団らんの時だと考えるからです。子供達は学校での出来事など、私達は仕事の事などを話し合います。そして、家族の皆が健康で明るい家庭を作って行きたいと思っています。

子供達との関いは、まだ延々と続く訳ですが、子供達と共に自分自身も学び、少しでも向上して行ければと思います。そして、たくましく、もともとと沢山の友達と遊んで欲しいと思います。

我が家の家庭教育

シリーズ ④

二又 大木 せい子

この原稿を前にして、改めて家庭教育というものは何であるのかを考えさせられると共に、果して私の行って来た事が教育と言えるのかどうか……

我が家は専業農家で、小学五年生と小学二年生の男の子がいます。常に家にいるわけですから、時間も多少は自由になると言うこともあって、子供達に手をかけ過ぎてしまい、わがままで忍耐力の無

ひかりまちの風土記 ④

篠本城址 篠本



全景を遠方より望む

土塁あと

光町にはいくつかの古城址があります。が、その中の一つ、篠本城は天慶五年(九四二)に加瀬良国という人が築城しました。良国は新しい道や農業用の池・溝をつくり、この地を繁栄させたといわれています。戦国時代の加瀬氏は北総地帯に攻めこんだ里見氏と戦いこれを破り、江戸時代には関口と改姓し代官を務めたそうです。篠本字城山には現在も土塁の一部が残っています。